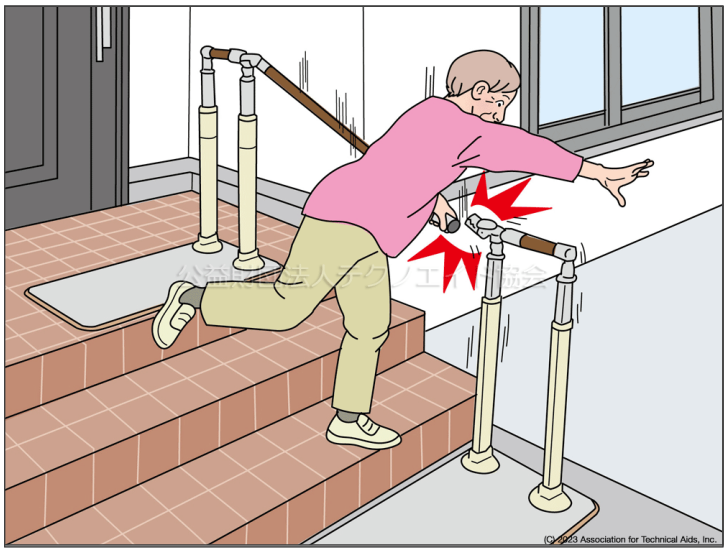
福祉用具ヒヤリハット　研修教材（講師用）

Case：373

据え置き型手すりが破損し転びそうになる

場面の説明

据え置き型で移動可能な手すりを利用中、支柱と手すりの接続部分が破損し、利用者が転倒しそうになる



利用シーン	移動
主な利用場所	玄関 段差・縁石
介護保険の種目	―
分類コード (CCTA95)	123009 (床置き式起き上がり用手すり)
介護テクノロジー	―
二次元バーコード	

解説

据え置き型手すりは、組み立てられた状態で移動しようとすると支柱と手すりの接続部分に大きな負荷がかかります。設置場所を移動する際にはいったん分解するなどして、接続部分に無理な力が加わらないようにすることが求められています。また、組み立てや分解の作業中にも注意が必要です。このケースではそのような注意を怠ったことが要因で接続部が弱くなっていたと考えられます。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：いったん分解して移動するのが面倒くさかった
人：取扱説明書を確認しないで設置作業をした
モノ：移動の時はねじを緩めるという注意喚起の表示がなかった
モノ：誤った方法での移動を想定した強度になっていなかった
管理：不適切な作業により重大な事故につながる可能性があることが周知されていなかった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.

福祉用具ヒヤリハット　研修教材（受講者用）

日付：	所属：	氏名：

Case：373

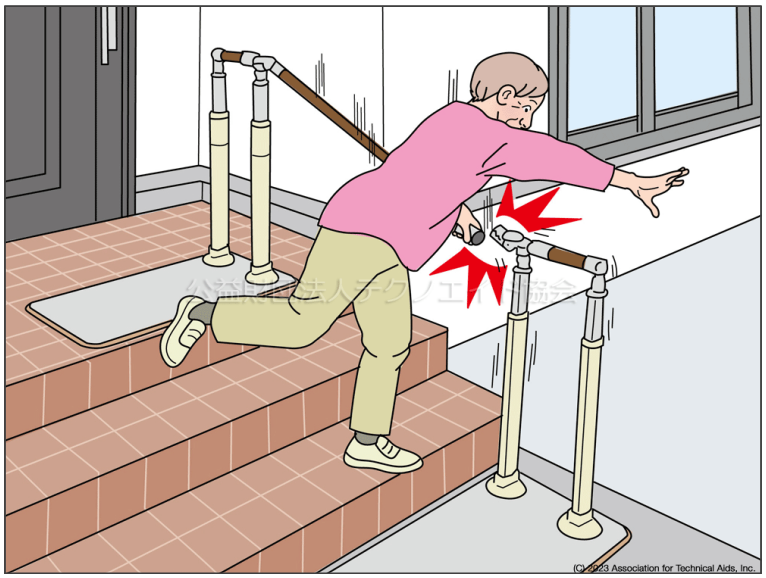
据え置き型手すりが破損し転びそうになる

事例詳細

回答前に見ないこと

場面の説明

据え置き型で移動可能な手すりを利用中、支柱と手すりの接続部分が破損し、利用者が転倒しそうになる



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ

作成：公益財団法人テクノエイド協会

Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.